

— 大仙市の「今」と「未来」について考える —

高校生ワークショップ 実施報告書

令和6年11月
大仙市こども未来部こども政策課



目次

1 高校生ワークショップの概要p. 2

- (1) 実施概要p. 2
- (2) 実施スケジュールp. 3
- (3) 共通ルールp. 4
- (4) 考え方のプロセスp. 4

2 ワークショップメニューp. 5

- ・ DAY 1p. 5
- ・ DAY 2p. 6
- ・ DAY 3p. 7

3 グループ意見p. 8

- ・ Aグループp. 8
- ・ Bグループp. 11
- ・ Cグループp. 14

4 参加者アンケートp. 17

5 意見の活用方法p. 18

1 高校生ワークショップの概要

(1) 実施概要

① 目的

高校生が大仙市の「今」と「未来」について、普段の生活や市の取り組みに関心を持ちながら考え、高校生だからこそ見える視点から、大仙市をさらに良くする意見やアイデアを提案し、市は得られた意見やアイデアをこども計画の策定や各施策に反映させることを目的とする。

② 実施日時

令和6年7月24日（水） 9：30～12：00

令和6年8月 1日（木） 9：00～14：30

令和6年8月 8日（木） 9：30～11：30

③ 実施場所

大仙市役所本庁舎 3階 第一委員会室

④ 募集対象者

市内の高校に在学または市内在住の高校1～3年生

⑤ 参加申込方法

参加申込書を窓口、郵送または電子申請のいずれかの方法で提出する。

【提出先：こども未来部こども政策課】

⑥ 申込受付期間

令和6年6月18日（火）～7月8日（月）

⑦ 参加者

市内の高校に在学する高校生 21名

- ・大曲高等学校 5名
- ・大曲工業高等学校 6名
- ・大曲農業高等学校 6名
- ・秋田修英高等学校 4名

⑧ ファシリテーター

大仙市コミュニティFM局 FMはなび パーソナリティ 藤田 浩士 氏

(2) 実施スケジュール

DAY

1

7/24

9:00~10:15 こども未来部長挨拶・自己紹介・アイスブレイク
10:15~10:25 ワークショップに関する説明
10:25~10:35 休憩
10:35~10:45 役割分担の決定
10:45~11:20 経験・理想の発表
11:20~11:40 経験・理想のカテゴリー化
11:40~11:55 発表する経験・理想の決定
11:55~12:00 事務連絡

DAY

2

8/1

9:00~9:20 自己紹介・役割分担の確認
9:20~10:35 効果と問題・課題の検証
10:35~10:45 休憩
10:45~12:00 発表原稿・模造紙の作成
12:00~13:00 昼食
13:00~13:45 発表原稿・模造紙の作成(続き)
13:45~14:30 発表練習・発表時の役割分担の決定

DAY

3

8/8

9:30~9:50 リハーサル
9:50~10:00 休憩
10:00~11:00 プレゼンテーション・意見交換
11:00~11:05 市長からの講評
11:05~11:15 参加証明書の交付
11:15~11:20 こども政策課長・ファシリテーター挨拶
11:20~11:30 記念写真の撮影

(3) 共通ルール

- 1 些細な意見も恥ずかしがらず話してみます
- 2 他の人の話は遮らずよく聴きます
- 3 どんな意見も批判せず歓迎します
- 4 みんなが平等に話せるようにします
- 5 話しやすい明るい雰囲気をみんなで作ります
- 6 難しいことも諦めず前向きに取り組みます
- 7 参加者の個人情報は外では絶対話しません

(4) 考え方のプロセス

① 経験・理想の発表

普段の生活からの経験とそれに対する大仙市の理想を出し合う

② 経験・理想のカテゴリー化

出し合った経験と理想をカテゴリー化する

③ 経験・理想の決定

発表する経験・理想を決める

④ 効果の検証

選択した理想が実現した場合に大仙市に生まれる効果を考える

⑤ 課題の検証

選択した理想を実現する際の課題とその解決策を考える

2 ワークショップメニュー

DAY 1 WORKSHOP MENU

自己紹介・アイスブレイク

A・B・Cのグループに分かれ、一人ずつ次の内容を話して自己紹介をしました。

① 氏名 ② 所属高校名 ③ 学年 ④ このワークショップに参加した理由

①から④まで話した後、同じグループのメンバーからその人へ自由にインタビューしました。

経験・理想の発表、カテゴリー化

高校生が普段大仙市で生活している中で、「大仙市がもっとこうだったらいいのに」と不便などを感じた経験とそれに対する「こうだったら大仙市はもっと良くなる」という理想をグループで書き出してもらいました。



発表する経験・理想の決定

グループ内で出し合ったたくさんの経験と理想の中からグループで考えを深め、意見として発表していくものを決めました。

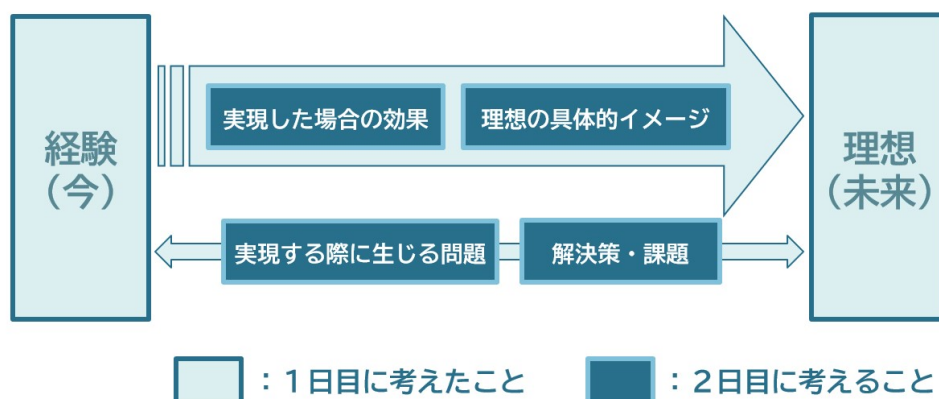
効果と問題・課題の検証

グループで選んだ理想について、効果と問題・課題の検証をしました。

グループの理想が実現した場合、「大仙市全体にこんな効果がある」「こんな人たちにとってメリットがある」ということを考えました。

また、理想と実際の状況との間に存在している差や目標を達成するために解決しなければならない問題を解決策とともに考えてみました。

効果と問題・課題の検証



発表原稿・模造紙の作成

グループでまとめた考えや意見で発表原稿と模造紙を作成しました。

発表原稿はパソコンで作成し、模造紙は共通の形式以外にもイラストなどを使って、グループの個性が詰まった良いものが出来上がりました。



発表練習・発表時の役割分担の決定

グループで発表時の役割分担を話し合い、本番と同じように発表練習をしました。

DAY 3 WORKSHOP MENU

リハーサル

本番の動きを全体で確認した後、グループごとに発表原稿や内容について最終確認をしました。

プレゼンテーション・意見交換

グループでまとめた考えや意見を順番に市に対してプレゼンテーションし、グループごとに市と意見交換を行いました。

【グループごとの提案意見や意見交換の内容は8ページからの「3 グループ意見」に記載しています。】



市長からの講評

グループ全体のプレゼンテーションに対して市長が講評を行いました。

講評概略

素晴らしい提案をありがとうございました。

高校生の皆さんが様々な思いを持っていることを思い知らされましたので、これからはもっと高校生の皆さんの意見や思いを色々な場面で聴き、そのニーズに応えていくという姿勢でいきたいと改めて思いました。

今回、公園など運動したり、楽しんだりする空間に対する提案が多く、今後、公園やスポーツ施設等の建設を考える際には、今日ご指摘のあった点を考慮して構想を立てていくことが必要だと感じました。

参加証明書の交付

参加した高校生全員に対して市から参加証明書を交付しました。

記念写真の撮影

市長を囲んで参加した高校生全員で記念写真を撮影しました。

3 グループ意見

Aグループ提案

男女ともに楽しく遊べる場所及びイルミネーション等のデートスポットの設置

経 験

大仙市で遊べる場所や駅周辺にお店が少なく友だちと遊べる場所があまりないと感じた。

理 想

男女ともに楽しく遊べる場所が増えてほしいと同時にイルミネーションのような鑑賞できるものが欲しい。

具体的なイメージ

- ・中高生などの若い世代を対象にくつろげて、遊べる施設があると良い。
- ・食べたり、運動したり、休んだりする場所やフォトスポットが増えるとさらに良い。

★ 理想のデートプラン

10：10	駅集合	14：30	芝生・広場でリラックス
10：10	運動できる場所(アクティビティ)	15：30	カフェ&スイーツ(おしゃべり)
12：00	お昼ご飯	17：00	イルミネーション ⇒ 解散
12：45	買い物		

効 果

人の交流の場が増え、お金がたくさん増える。

具体的な効果

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 高校生 | ・交流の機会が増えるので、出会いの場が増える。 |
| | ・カップルのデートスポットや友だちと遊ぶ場所が増える。 |
| | ・市内で遊べる。 |
| お店の経営側 | ・学生の利用客が増える、収益が増える |
| 施 設 | ・活気が溢れる。 |
| その他 | ・県外に行った大学生がAターンするきっかけにもなる。 |

問 題

- 問題① 建物を建てる人やお店で働く人が必要であること
問題② 土地代や建設費をどこから持って来るかということ

解決策

- 問題① 建物を建てる人やお店で働く人が必要であること
解決策 ⇒ 機会の導入による会計や受付の無人化
問題② 土地代や建設費をどこから持って来るかということ
解決策 ⇒ クラウドファンディングの実施

意見交換

市長	理想のデートプランを発表してくれましたが、このプランを実現するには、大仙市に何が足りないと思いますか。
Aグループ	特に 10 時 10 分からの運動できる場所と 14 時 30 分からのリラックスできる芝生・広場があれば嬉しいと思います。
市長	市内には体を動かすことができる施設はあると思うが、カップルでデートする場所としては難しいという印象ですか。
Aグループ	そういう印象です。
市長	アウトドアアクティビティも重要だと思いますか。
Aグループ	重要と考えています。
市長	カフェやスイーツ店は市内にあると思いますか。
Aグループ	カフェやスイーツ店は太田地域を中心に結構ある印象なので十分かと思います。
市長	イルミネーションはどのあたりにあると良いと思いますか。
Aグループ	駅前駐車場とかに派手なものがあると、写真を撮ることなどもできるので良いと思います。特に秋田駅のイルミネーションが綺麗だと感じていて、同じくらいの規模のものがあると雰囲気も良くなっていいと思います。
市長	太田駅の乗降者数は、秋田駅や土崎駅に次いで多いため、市も駅を中心とした賑わいは重要と考えています。
こども未来部長	ワクワクするような楽しい提案をありがとうございます。イルミネーションについて、駅周辺にというお話であったが、駅以外にあった方が良いと考えている場所がありますか。
Aグループ	やはり駅周辺が良いと考えています。
こども未来部長	皆さんは学校終わりにはどのような場所に行きますか。
Aグループ	まっすぐ自宅に帰ることが多いが、午前で学校が終わったときなどは商業施設などに行って遊ぶことがあります。

総合政策課長	自分が高校生だったときは、まちづくりについて考えることなんてなかったのですが、皆さんの発表を聞いて感心しました。 デートプランの中に芝生の広場でリラックスしたいということであったが、具体的にその広場にどのようなものがあれば良いと思いますか。
Aグループ	先ほどお話ししたイルミネーションやおしゃれなベンチなどがあれば、すごく雰囲気も良くなっていいと思います。
市長	私は当初、デートスポットと聞いて、皆さんからアミューズメント施設などが出てくると想像していたが、そのような施設は考えていますか。
Aグループ	そのような施設も考えているが、高校生は自由に使えるお金が少ないため、イルミネーションのようなお金をかけずとも楽しめるようなものがあると嬉しいです。

Bグループ提案

すべての世代が手軽に利用できる公園の設置

経 験

- ・学校が終わったら学校の敷地内から出ていかななくてはいけないのに、行く当てもないため困ってしまった。
- ・雨の日に遊べる場所が無くて、不便だと思っていた。
- ・小さい子どもや高校生、ご年配の方々といったどの世代も遊べるような場所が無い。
- ・公園があるのにうまく活用されていないのか、公園を使ったとしても近隣の住宅への被害を心配して球技などができず、遊べるものが無かった。

理 想

大仙市に小さい子どもたちが利用できるものだけでなく、高校生やあまり運動することのできていない方々など幅広い世代が利用できるような公園が欲しい。

具体的なイメージ

- ・ボールが飛び出さないようにネットで囲まれている。
- ・サッカーやバスケットボールなどのゴール、休むことができる休憩所やベンチ、水道、自販機、けがをしたときに対応できる救急箱が設置されている。

- ・部活終わりの高校生が多く集まり、にぎわいが生まれる。
- ・ボールの貸し出しをすることで、気軽に遊びに行けるようになったり、遊びの幅が広がったり、たくさんの人がそれぞれ自分のしたいことができる。
- ・蛇口があることによって水分補給することができ、熱中症を防ぐことができる。



遊びだけでなくスポーツの活性化になったり、子どもだけではなく、子どもがいる方や高齢の方なども安心して利用できるようになったりするなど、地域全体の活性化につながる。

効 果

具体的な効果

高校生

- ・学校終わりや部活後でもそのまま気軽に遊びに行けて、駅前や学校の近くに遊べる場所があれば遊びに行きやすい。

子育て世帯

- ・子育てしている親同士の交流ができたり、子どもを楽しませたりできる。
- ・子どもが自発的に遊ぶようになるので、親御さんにとって子育てを一旦休む時間になる。

高齢者

- ・運動不足が解消され、健康維持につながる。

ほかの地域から来た人

- ・初めての場所でも公園には親しみやすさがあることから、気軽にいきやすいと感じたり、その地域の人と交流できたりするため、新しい地域に溶け込みやすくなる。

問 題

- 問題① 大きい公園を作るための場所やお金がないこと
 問題② 公園が汚れていってしまうこと
 問題③ 誰でも使えるボールがあると盗難の危険があること

解決策

公園をきれいに保つためには、ごみの持ち帰りを徹底するなど利用者のマナーの向上を呼び掛けることで公園が汚れて行ってしまうことを防ぐことができる。

意見交換

市長	こどもだけではなく、すべての世代が利用できる公園ということで提案していただきましたが、この理想の公園に高齢者を対象とした設備として、どのようなものがあると良いと思いますか。
Bグループ	このような大きな公園に遊歩道のような道を整備し、散歩コースのように利用してもらうことで健康管理などができると思います。
こども未来部長	グループでの話し合いの中で、屋内施設は、学校終わりに自分たちが利用したいと思っても、スポ少やサークル活動の予約でいっぱいになっていて、なかなか利用しづらいという話もしていましたね。この理想の公園が市内のどのあたりにあると良いと考えていますか。
Bグループ	学校では放課後、校内にいたることができる時間が制限されており、その時間を過ぎると校内から出なくてはならないルールがあります。もし、この理想の公園が駅前や学校の近くにあったら、制限の時間を過ぎても、すぐに移動して話したり、遊んだりできるので良いと考えています。
総合政策課長	自分たちのことだけではなくて、特に子育てをする人たちが一旦休む時間になればいいなという視点を持っていることが素晴らしいと感じました。市として取り組むべき内容であって、それを今ある公園でもできたらと感じましたが、例えば、皆さんの学校から近い桂公園などは普段行きますか。
Bグループ	学校から近いので良く行きます。／ 行ったことがないです。
総合政策課長	桂公園などに様々な世代が使えるコンテンツを整備したり、スポーツのネットなどはないが、ストレッチができるようにしたりなど、参考にしたいと思います。

ファシリテーター	大仙市内にたくさん公園がありますが、公園を綺麗に保つという点で、高校生の皆さんはどのように感じていますか。
Bグループ	比較的綺麗だと感じています。ゴミも落ちていないし、草木の整備をされているので、綺麗だと思います。
ファシリテーター	プレゼンテーションの中で、「空き家」というキーワードも出てきたが、その点はどう感じていますか。
Bグループ	使われていない建物が多くあると感じていて、それを解体しスペースを作って、公園を作れば良いと思います。
総合政策課長	今のお話に関連して、「SDGs」という視点からは、どのように考えていますか。こういうことができたらということがあれば教えてください。
Bグループ	ゴミが落ちているとかはないが、プラスチックゴミをリサイクルして、公園の設備などに充てるというのも良いと思います。
ファシリテーター	グループでの話し合いの中で、ストリートバスケットができるような場所が欲しいという話も出てましたが、やはり欲しいと感じますか。
Bグループ	ぜひ欲しいです。
ファシリテーター	Aグループの話の中でも、お金のかからない場所でということが出ましたが、同じように感じますか。
Bグループ	私たちもお金に限られているので、なるべくかからない場所で好きなように遊びたいです。

Cグループ提案

駅前への施設の集約化及び各地域と駅前間のバスの整備

経 験

- ・近年大仙市の人口が減少していて、その中で大仙市の中心地であるべき駅前と花火通り商店街の活気が薄れている様子があると感じた。花火通り商店街の活気が年々薄れており、シャッター街化している。
- ・大仙市の中でも存在する施設に差があったり、駅前に集まっていたほしい施設も色々な場所に散らばっていたりすることから、生活、交通、施設において不便さを感じる人が多いと感じた。近所のおばあちゃんが車を持っていないので、一番近いスーパーに行くのもシルバーカーを押しながら歩いている大変な様子を見かけた。
- ・雨天時や冬季間にバスをもっと活用したいと言っている小中高生がいた。

理 想

幅広い年代の方々がよく利用する施設を駅前に集約させて、各地域から駅前までの交通網を整備して欲しい。

- ・駅前に次のような施設が欲しい。

駅前に欲しいと思う施設（★：特に欲しい施設）

高校生	子育て世帯 【将来子育てをする際にあったら便利だと思う施設】
★運動ができる施設(バッティングセンター) ・ファミレス ・若者向けの服屋 ・ゲームセンター ・映画館	・キッズスペース ・子育ての悩みを気軽に相談できる相談所 ★買い物や通院の際にこどもを一時的に預けられる託児所
高齢者	外国人
・近所だけでなく様々な地域の同年代の人や若者との交流ができる交流センター ・大仙市の文化を発信できる施設	・大仙市の伝統文化を体験できる施設 ・日本語教室 ・出身国の料理が食べられる店 ・異文化交流センター ・日本食レストラン

このような施設を作るには、例えば、花火通り商店街の閉店した店の跡地を利用したりすれば土地の有効活用にもなるし、駅前を利用する人が増え、大仙市の活性化につながる。

- ・様々な世代の人が駅前までに来るための交通手段として大曲駅から各地域の拠点をつなぐバス（例：ドンパルから大曲駅、嶽ドームから大曲駅）を運行して欲しい。
- ・高校生、子育て世帯、高齢者が気軽にバスを利用できるよう、半額定期券を発行するとさらに利用が増えるし、利用しやすくなる。

効 果	<u>具体的な効果</u> 高校生 ・バスの利用本数と拠点が増えることにより、登下校時にも使うことができる。 ・駅前ですべて以上に楽しむことができる。 子育て世帯 ・託児所があることによって家事と育児の両立しやすくなり、ワークライフバランスの向上を目指すことができる。 高齢者 ・同年代の人とのコミュニティができ、自分の知識を若い人へ発信できる。 外国人 ・伝統文化が体験できる施設や日本語教室などの設備が整っていることで楽しんでもらえて、さらに大仙市がいいところと思ってもらえると定住にもつながる。
問 題	問題① バス会社の運営が赤字、人手不足であること 問題② 新しい施設を建てる費用がない、主要な施設が遠い位置にあること
解決策	問題① バス会社の運営が赤字、人手不足であること 解決策 ⇒ <u>自動運転を取り入れることや、バスの代わりになる乗り合いタクシーを用いる。</u> 問題② 新しい施設を建てる費用がない、主要な施設が遠い位置にあること 解決策 ⇒ <u>クラウドファンディングに取り組む。</u> <u>花火通り商店街の閉店したお店の跡地を利用する。</u>

意見交換

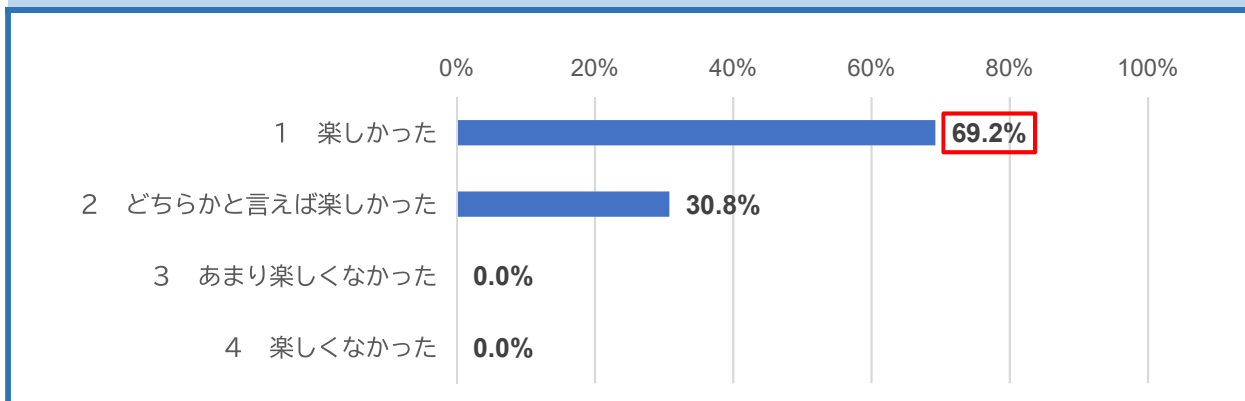
市長	取り扱ってくれたテーマは、大仙市のまちづくりを考える上で、とても大切なテーマで、それを皆さんが取り上げて考えてくれて感心しました。皆さんの考えと市が今考えていることは重なっている部分が多くあり、同じ方向を向いていると感じました。
こども未来部長	特に大曲駅は大仙市の顔というようなところに注目して、さらに皆さんが市の情報や課題を的確に捉えながら発表していただいて、感心していました。 先ほど市長が話したとおり、市の取り組みと皆さんの考えが重なるところも多くありますが、違った部分からの提案もありましたので、そういったところも参考にしたいと思いました。 皆さんが話し合った中で、駅前の花火通り商店街の中にこんな施設が欲しいなと考えたものがあったら教えてください。

Cグループ	資料に掲載したものの中で跡地を利用するとすれば、簡易的なバッテリーセンターや学校帰りのカフェなどが閉店した時間帯や電車の待ち時間などに友だちと気軽にご飯を食べられるようなレストランがあればありがたいと思います。
総合政策課長	皆さんには市職員を目指してみてもいいと思うくらい、今、大仙市が抱えている人口減少を見据えての提案で、コンパクトシティやネットワークといった、まさに大仙市が取り組んでいるものを課題として捉えていて感心しました。 今後も皆さんには、まちづくりというところを考えていただいて、まちづくりに関わって欲しいと感じています。

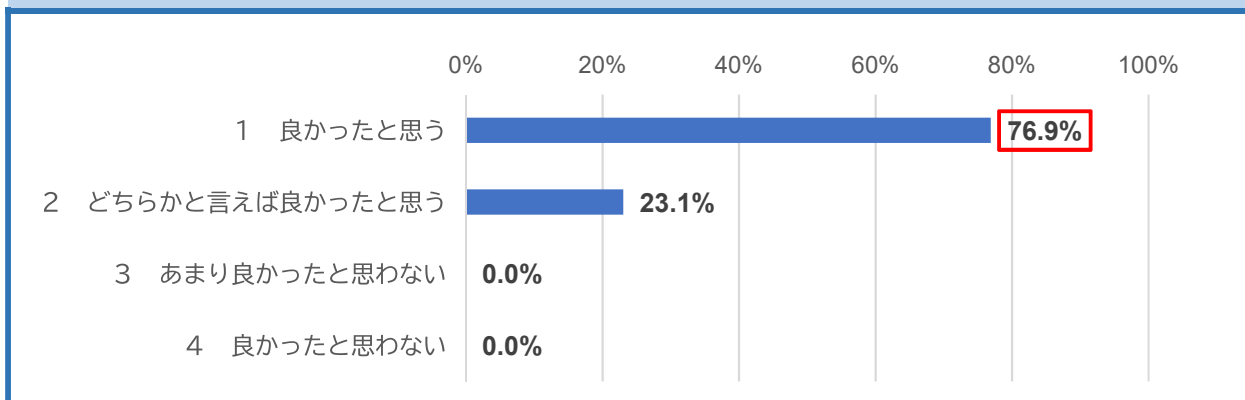
4 参加者アンケート

参加した高校生21名のうち13名から回答をもらいました。

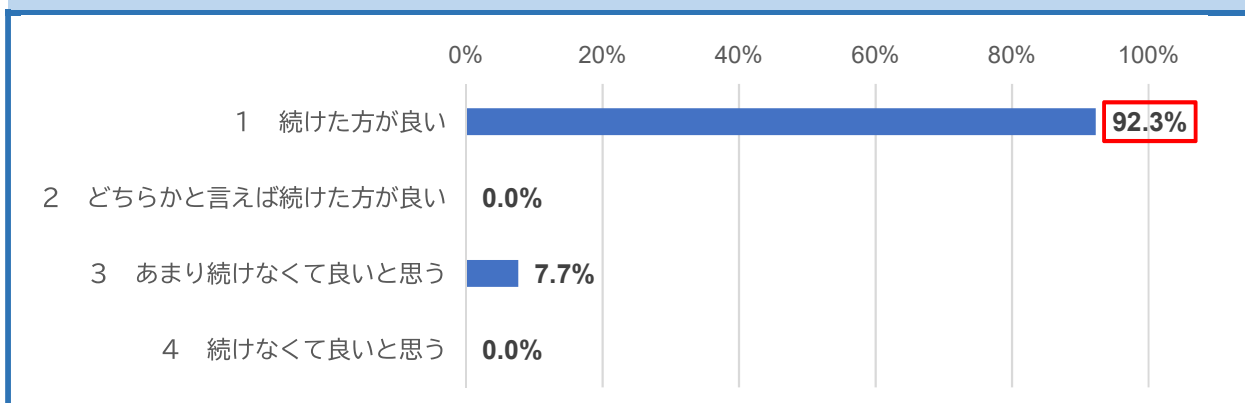
問1 高校生ワークショップに参加していかがでしたか。



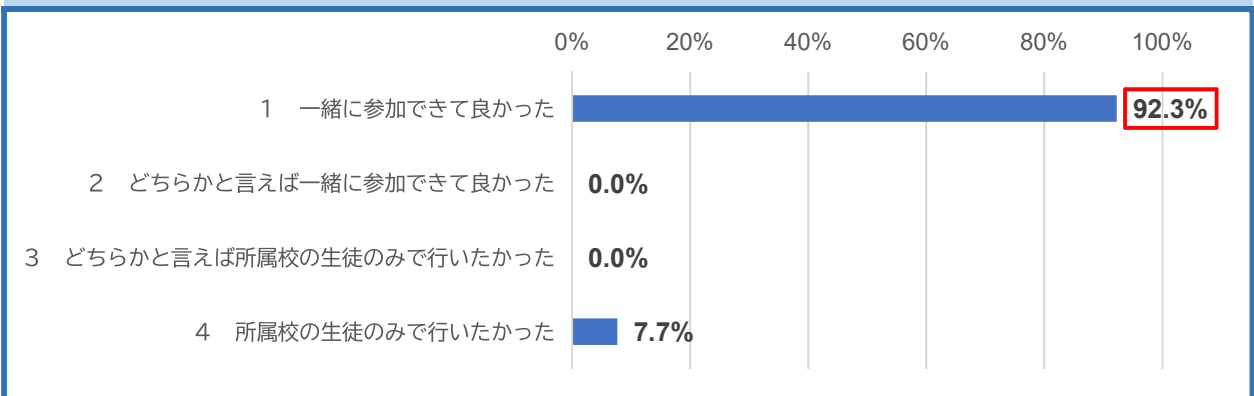
問2 高校生ワークショップに参加して良かったと思いますか。



問3 高校生ワークショップは今後も続けた方が良いと思いますか。



問4 他校の生徒と一緒にワークショップを行うことについてどう思いましたか。



問5 「こうすれば高校生ワークショップがもっとやりやすくなる、楽しくできる」といった改善点やアイデアがあれば教えてください。

- ・私たちの意見が反映されると参加した甲斐があります。
- ・十分よい。
- ・わたしは高校生にアンケートなどを取ると話しやすくなるとおもう。
- ・もう少し日にちを多くする。

問6 その他感想などあれば教えてください。

- ・大人になっても住み続けたいと思える魅力ある大仙市になって欲しいです。
- ・他校の人の意見を聞ける体験ができてよかった。
- ・いろいろな考えを持ってる人がいるのがわかった。
- ・高校生ワークショップに参加したことで、大仙市で改善した方が良かったことを他の高校と交流することで楽しく、まとめることができて参加してよかったと思いました。
- ・案を実行してほしい。
- ・ワークショップに参加してよかったと心から思っています。ワークショップのおかげで新しい出会いができ、自分にもプラスになる素晴らしい経験を積むことができました。ワークショップに参加する前は、自分の地元ではない市に協力して何になるのかと思っていましたが、確実に自分にとって新しい学びになりました。また機会があればあのときのメンバーとまた集まれたらと思っています。あの3日間だけではなく、これからも関わられたらと思っています。冬休みにでもまた機会を作っていただきたいです。それが私たちからの願いです。前向きに検討のほうよろしくお願いします。秋田修英高等学校生徒会より

5 意見の活用方法

この高校生ワークショップでいただいた意見は、高校生の皆さんが普段、大仙市で生活している中での経験から生まれたものであり、それを高校生の皆さんの熱い思いとともに知れたことは、市にとってこれ以上ない大変貴重な機会であったと考えています。

いただいた意見は、令和7年度を計画の始期として現在準備を進める「こども計画」だけではなく、市役所庁内関係各課へ広く展開し、市の既存事業の見直しや新規事業の提案などに活用していきます。

高校生ワークショップ実施報告書

令和6年11月

発行 大仙市

〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号

TEL: 0187-63-1111 (代)

FAX: 0187-63-8811

URL: <https://www.city.daisen.lg.jp/>

編集 大仙市こども未来部こども政策課